

ONCC 公開文化講座

「日本近代文藝の魅力を探る」開講

— 森 鷗外・志賀 直哉・谷崎潤一郎
有吉佐和子・司馬遼太郎・山本周五郎 —

講師：細川 正義 先生

2019.5.13(月)～2020.2.10(月) 全10回 茨木市ローズWAM他

テーマは近代文藝に描かれた「生きる意義と愛のかけがえのなさ」を六人の作家（森 鷗外・志賀直哉・谷崎潤一郎・有吉佐和子・司馬遼太郎・山本周五郎）の世界から探ります。

今回のシリーズで第5弾目になる人気講座、会場を豊中市から茨木市に移しての開催で受講生の皆様方の顔ぶれが少し変わったような気がしますが5月13日（月）全10回の講座がスタートしました。

開講式では猪谷理事長挨拶で、前日NHKスペシャルで放映された京大山中教授の“遺伝子”の話題で会場の雰囲気が一挙に和んだのち、細川先生にバトンタッチしていただきました。

先生は冒頭、本講座の最初から今回第5弾目までの主担当であった「故・内田事業部部長」の思い出話と共にその功績をたたえていただき、あらためて内田さんの想いが伝わってきました。先生有難うございました。

初回は“森 鷗外文芸の魅力(1)～近代文芸の出発・『舞姫』『雁』”近代文芸の原点の一つとされる『舞姫』と同時代の作家である坪内逍遙、二葉亭四迷らの作品の明治初期の時代背景・文芸思潮を交えて、作家の想いを先生いつものスタイルで熱く熱く講義していただきました。

講義を受けて毎回思うことは一度読んだ作品であっても読み返したくなります。受講されている皆様方はいかがでしょう。

今回は森鷗外の歴史小説『阿部一族』『山椒大夫』楽しみです。

なお、若干空席がありますので、2回目からの受講も歓迎しますので、ご応募お待ちしております。

お問い合わせ：ONCC事業部
講座担当 前田（090-3273-3840）まで



公開文化講座のお知らせ

「日本近代文藝の魅力を探る」

講師：細川 正義 先生

2019.5.13(月)～2020.2.10(月) 全10回



